

22086Project	地域協働専攻 国際協働グループ
A14	函館の中小企業で外国人の就労をすすめるプロジェクト &UProject
メンバー	<p>[学 生] 田村直/関口風花/佐藤花/谷田ころ/新保祐芽/有凉千桜/木村万路</p> <p>[担当教員] 森谷 康文</p> <p>[アドバイザー] 河村 悦郎(北海道中小企業家同友会函館支部政策委員長)</p> <p>加藤 貴之(株式会社カトウサービスプランニング)</p>

【背景】

函館の中小企業は二つの「じんざい」不足に悩んでいる。労働力(マンパワー)としての「人材」と、発展の中核となる人的資源である「人財」が不足しているのだが、中小企業は特に後者の人財を求めている。また、外国人は函館での雇用サポート体制が不十分であり、函館で就職したくても難しいという問題を抱えている。

【目的】

北海道中小企業家同友会函館支部と日本国際語学アカデミー函館校(以下、JILA)の就職希望の学生をつなげ、学生のインターンシップを実現し、両者の問題解決を図る。

【概要】

JILAの就職を希望する学生と交流し親睦を深めるとともに、北海道中小企業家同友会函館支部の企業と学生の橋渡しを担い、インターンシップ実現に向けた取組みを行う。

【プロセスと成果】

前期は、これから就労を支援していくうえで、JILAの留学生と私たち教育大生の友好関係を築く必要があると考え、主にJILAの留学生との交流を行った。まず最初に、JILAを訪問しお互いの自己紹介をおこなった。その後、「U&Meパーティー」と題した交流会を大学で開催し、私たちがつくった食事を一緒に食べ、ゲームを通して親交を深めた。また、函館の街を知ってもらうために、函館山や旧函館区公会堂など函館西部地区の「まちあるき」を実施した。こうした交流の機会を通して、留学生の名前や人柄を知り、日本で働くうえで興味のある仕事などを聞くことができた。また、交流の際には一緒に写真を撮り、SNSを交換するなど留学生と仲良くなり、連絡をとりあう環境づくりに努めた。夏休み期間中も、スマートフォンSNSアプリケーションの通話機能を利用して留学生の夏休みの課題を手伝ったり、アルバイトでの様子を聞いたりして、留学生の日本語学習の支援をしつつ、就労について話すことを続けた。

後期では、こうした関係性の構築を基盤に留学生と企業をつなぎ、留学生が函館の中小企業でインターンシップを実施することを目標に活動した。まず、協力団体の北海道中小企業家同友会函館支部(以下同友会)の紹介により、稲葉魚介苑、菅原組、五島軒、カドウフーズ、YGフラッグシップの5社にヒアリングを行い、インターンシップの詳細や求める人財像等について情報を収集した。そのうち一企業では、プロジェクトメンバーも仕事体験も実施した。これらの活動で得た情報をもとに、JILAの教室にて留学生に対して、インターンシップ受け入れ企業5社7事業所の紹介を行った。さらに、同友会による留学生に対する企業インターンシップの説明会が行われ、その際に、プロジェクトのメンバーが留学生と企業とのコミュニケーションの仲介を行った。

留学生はそれぞれ希望するインターンシップ先を見つけ、1月29日には稲葉魚介苑で第1回のインターンシップを行なった。インターンシップのサポートで参加したメンバーは、「恥ずかしがらずに仕事に挑戦する学生たちの姿を見て感銘を受けた。彼らなら今後どんな困難も乗り越えていけると強く感じた。」と述べていた。



【JILA 留学生とのまちあるき】



【稲葉魚介苑でのインターンシップの様子】

【総括と反省・今後の課題】

前期は、就職に関わる情報を聞き出すため、JILAの留学生と仲を深めることに重点を置き、対面とオンラインでコミュニケーションをとることを重視した。交流を始めた当初は、日本語習得が初級レベルの留学生に私たちの話すことが伝わっていないことが課題となった。そこで、留学生の日本語習得の達成状況に合った語彙や文法を使用できるように日本語教育を専攻するメンバーを中心に対応を検討した。留学生が理解できるように私たちの話し方を工夫しながら、対面では2回の交流会の実施、オンライン上ではInstagramやFacebookを通じて、日本語の学習支援だけでなく、日頃の生活やアルバイトの様子、出身国のことなどを話題に交流を継続した。日本語の話し方の工夫と継続した交流により、留学生とも仲良くなり、彼らの希望する仕事や彼らの日本語能力の到達も把握したそれを踏まえ、さらに働きかけを工夫することも行うことにより、より良い関係性を築くことができたのではないだろうか。

後期は、留学生とオンライン上のコミュニケーションを続けつつ、企業に関する理解を深めることに重点を置いた。まず、JILAのインターンシップを受け入れる5つの企業訪問を実施したが、そのうち1つの企業でプロジェクトメンバーが仕事体験を行った。これにより、留学生が体験する仕事をより理解することができ、留学生のインターンシップを検討する際には、より詳細な説明をすることができた。企業訪問で得た情報から、留学生に向けた企業説明資料を作成した。説明会の資料や発表では、「やさしい日本語」を心がけたが、当日はJILAの日本語教師により補足説明が必要だった。日本語の母語話者であるから「やさしい日本語」がすぐにできるわけではなく、基礎的な学習や訓練、また資料のわかりやすさを何らかの形で点検するなどのより丁寧な工夫が必要だった。インターンシップ参加企業から事前に説明資料を見て欲しいとの要望があった際には、こうした経験から、よりわかりやすい表現を提案することもでき、当日の企業説明のわかりやすさに貢献できた。

インターンシップ説明会では、企業ごとにブースを設け、企業側から仕事内容、福利厚生などが説明されたが、プログラムメンバーが陪席して必要な場合に説明の補助をおこなった。その際にも、これまで注意してきた伝え方の工夫が活かされている。後期の活動では企業と話す機会を多く設け、本プロジェクト目標達成のために必要な関係づくりに努めた。一方で、インターン実施が後期となり、留学生と企業のスケジュールが合わず、私たち自身が全てのインターンシップに付き添うことはできないという課題も残された。これに対しては、私たちの1年にわたる活動を通して、留学生と企業双方の年間スケジュールの把握と、どの時期にインターンシップを実施するのが効果的なのかを把握することができた。

本プロジェクトは継続的に行っていくものであり、こうした課題を続く活動に引き継いでいきたい。最後に、本プロジェクト実施に当たり、ご協力いただいた同友会企業のみなさま、JILAの教職員のみなさまに心から感謝いたします。

【地域からの評価】

「&U Project」は継続型の地域プロジェクトとして数年前より関わりを持たせて頂いているが、この地域が抱える根源的な課題となっている地域の中小企業におけるジンザイ不足(人材不足と人財不足)解消に向けて、特にコロナ禍以降は課外活動に制限があり、アクティブに活動できたとは言えない状況が続いていた。しかし、数年かけて積み上げてきた知識と経験は、今季のチームによって確実に華開いたと言えるだろう。これまで地域の担い手として地域社会に参加することが叶わなかった日本語学校と積極的に交流を持っていただき、学生ならではのアプローチで留学生たちの本音に耳を傾け、彼らが卒業後に函館に残るイメージを着実に形作ってくれた。また、外国人雇用を経験したことがない企業へのヒアリングも入念に実施してくれたお陰で、それぞれの企業側の状況や要望を加味した上で、留学生を雇い入れる前段としてのインターンシップ実現に向けて着実に準備を進めてくれた。

最終的には、日本語学校の留学生と外国人雇用検討企業を招いたインターンシップに向けた交流会を実施し、そのイベントで紡いだ縁によって ついに1月末からインターンシップが始まった。その様子を写真等で拝見し、ついに函館において中小企業でも手が届く外国人雇用が実現したと感ずるほどに感動した。

今回は4社がインターンシップを控えているが、実際に1月末にインターンを実施した企業からは、「一生懸命体験をする外国人の姿を見て、自分たちの働き方を見直すきっかけとなった。新しい風が吹いていると感じる。これから彼らと共に働きこの地域にはなかった価値を作っていくことができれば幸いです」とのコメントを頂いた。地域最大の中小企業団体である一般社団法人 北海道中小企業家同友会 函館支部としても、会員企業が抱える課題を大学生が中心となって解決するスキームを実際に目の当たりにし、産学連携の本当の意義を見出した。まさか、1年間の活動の中でこれほど多くの成果を出してくれるとは思ってもみなかった。優秀な学生たちのポテンシャル、そして地域における公器としての大学の役割と価値を再確認した1年だった

(北海道中小企業家同友会函館支部政策委員長 河村悦郎)

【その他】

年間スケジュール

■前期

- 4月19日 政策委員会出席
- 4月27日 JILA 留学生との顔合わせ
- 5月17日 政策委員会出席
- 6月23日 第一回 U&Me Party(交流会)
- 7月10日 第二回 U&Me Party(まちあるき)
- 7月21日 JILA 訪問(留学生ヒアリング)
カドウフーズ訪問
- 7月22日 中間報告会
- 8月8日~10月1日 日本語支援(オンライン)

■後期

- 10月19日 メンバーの稲葉魚介苑仕事体験
- 10月25日 YGフラッグシップ訪問
- 10月26日 菅原組訪
- 10月30日 五島軒訪問
- 11月2日 カドウフーズ訪問
- 11月17日 JILA訪問(インターンシップ企業紹介)
- 12月8日 同友会インターンシップ説明会
- 1月29日 インターンシップ実施(稲葉魚介苑)



